

市議会だより さつて



権現堂公園に咲く桜  例年よりも早い開花となりました！

3月定例会のおもなことから

- ・ 令和2年度当初予算等 2～4ページ
- ・ 各常任委員会での審査 5～7ページ
- ・ 市政に対する一般質問 8～15ページ
- ・ 議決結果の一覧 16ページ

No.94
2020年
5月

令和2年度 予算賛成全員で成立

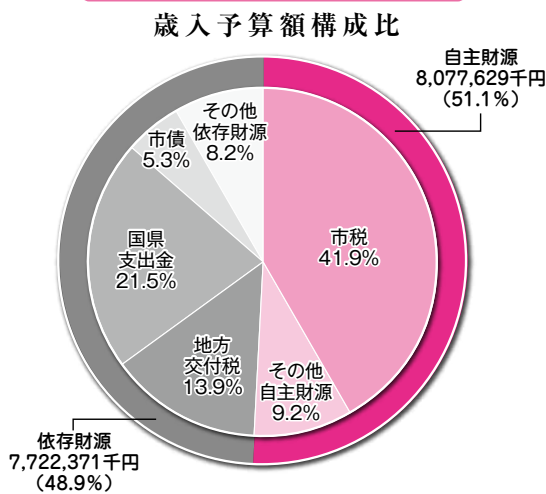
一般会計 158億円

歳出

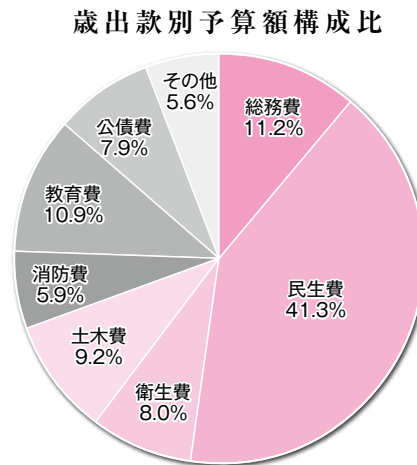
構成比では民生費が41.3%を占め、総務費、教育費が続く。主な事業は、ロタウイルスワクチン接種費用の助成、小中学校へのプログラミング教育ソフトの導入など。

一般会計

歳入構成



歳出構成



歳入

歳入総額は前年度比3700万円(0.2%)減
市税は前年度比1.6%減の66億2608万円

令和2年 3月定例会

令和2年3月定例会は2月21日から3月19日までの28日間の会期で開かれました。今定例会では、条例改正案6件、協定の締結1件、権利の放棄1件、補正予算案8件、令和2年度一般会計予算など予算案8件、補正予算案1件、人事案件1件、諮問案件3件などが提出され、いずれも原案のとおり可決・同意しました。

また、請願2件は採決の結果、1件が採択・決議書提出となりました。一般質問では、14人の議員が市政をただしました。

性質別歳出内訳 (単位:千円)

区分	項目	予算額	小計(割合)
義務的経費	人件費	2,988,156	8,191,715 (51.9%)
	扶助費	3,959,214	
	公債費	1,244,345	
投資的経費	普通建設事業費	651,618	651,618 (4.1%)
その他経費	物件費	2,640,483	6,956,667 (44.0%)
	維持補修費	84,096	
	補助費等	2,370,880	
	繰出金	1,795,027	
	その他	66,181	
合計		15,800,000	

※繰出金とは一般会計から各特別会計等に繰出す支出

特別会計

特定の収入を特定の事業のために使う会計

会計名	予算額
国民健康保険特別会計	5,672,452千円
後期高齢者医療特別会計	697,127千円
介護保険特別会計	4,013,679千円
農業集落排水事業特別会計	38,653千円
幸手駅西口土地区画整理事業特別会計	369,583千円
合計	10,791,494千円

(水道事業および公共下水道事業を除く)

**令和2年3月定例議会
本会議議案質疑内容**

(議案第14号)

**令和元年度幸手市幸手駅
西口土地区画整理事業特
別会計補正予算(第3号)**

質疑

繰越明許費のそれぞれの内容について伺います。

- 1、地下埋設物撤去処分等事業の内容と理由について。
- 2、調整池本体整備事業の繰り越した内容と理由並びに平成31年度、令和元年度の事業のこの完工予定。
- 3、物件補償についてお尋ねをします。

答弁

1、地下埋設物撤去処分等の事業の工事内容といたしましては、地権者へお渡しする予定の仮換地において試掘調査を行ったところ、地中に埋設物が確認されたため、その撤去等に要する工事費用です。

現場は住宅が隣接し、かつ地盤が軟弱であるため、本工事に使用

しなければならぬ仮設矢板の確保に時間を要し、工事に不測の日数を要しましたことから、年度内に完了することが見込めなく当該工事費の全額を翌年度に繰り越するものです。区画整理地内の土地については民地で相当昔から埋設物が入っていたという形跡があり、地主が知り得ないという状況でした。

2、調整池本体整備事業については、入札に不調が生じたこと、工事区域の地盤が軟弱であったため設計内容に変更が生じました。このため年度内に完了することが見込めなくなつたことで、当該工事の残金を翌年度に繰越しするものです。完了時期については、令和2年6月末を予定しています。

3、物件補償については、2権利者分のうち1名の方については既に仮換地において住宅を着工しており、完成は令和2年4月中旬予定で既存住宅の解体工事については令和2年6月末まで。もう1名の方については、仮換地において令和2年4月から住宅を着工し、令和2年8月下旬完成予定で既存住宅の解体工事については同年9月末との報告を受けています。

(議案第15号)

**令和2年度幸手市一般会
計予算を可決**

賛成討論

松田 雅代

減収する市税収入を地方交付税と基金で賄う厳しい財政制約の中、事業総点検で縮小・廃止となる項目もありますが、10月から始まる乳児定期接種に先駆け4月から独自の助成を行うなどきめ細かなサービスの提供、建設部門特別会計への操出、学校施設の設備、教育の充実、市民協働など、バランスのとれた予算を評価いたします。

賛成討論

大平 泰二

令和12年度までの一般会計から幸手駅西口土地区画整理事業特別会計に繰入れる額は24億6千万円を予定しています。一軒当たりの移転新築費用は約3千万円。今後移転費用30億円。その他に地方債が19億8900万円。元利償還金が10億8900万円が予定されており、見直しが必要です。街路事業に変更することを要求します。

(請願第2号)

**埼玉東部消防組合に対し
幸手消防西分署の存続
を求める幸手市議会決議
を求める件を採択**

反対討論

本田 諤子

この請願は、令和2年2月12日幸手消防西分署の存続を求める会代表から幸手市議会議長あてに「埼玉東部消防組合に対して幸手消防西分署の存続を求める幸手市議会決議」を求めるとして提出されたものです。

埼玉東部消防組合は、4市2町からなる広域消防組合です。管理者は各市町の長で、その消防組合は、各市町議会からの代表議員で構成されています。この請願は、消防組合に対し、何の決定権もない幸手市議会の「決議」を求めることです。願意を繋げる手法の問題、組織の熟知、決議の重さを考え、趣旨採択を願ひ、決議することに反対致します。

賛成討論

坂本 達夫

幸手市民は、西分署が廃止されることに不安を感じ、今回の請願を提出しました。

地域の高齢化もあり、緊急事態発生時には、一刻も早い医療行為が命を救うこととなります。このような市民の切実な願いを東部消防組合に届けることは、議会の仕事です。また、多くの市民の声を聴くことは、民主主義の基本です。

反対討論

枝久保喜八郎

請願採択基準①当該自治体に決定権限があること(幸手市には決定権がない)②実現の可能性が高いこと(実現性が不明瞭)

合併協定理念①4市2町合併時の決議および協定を破ることになる
②他の自治体に好意を持たれない
③幸手市の信頼性が低下し今後の広域連携への障害となる④合併のメリットを考慮していない

賛成討論

海老沼 隆夫

幸手市は人口減少の中、世帯数は増加。過密化する住宅地で増加傾向の自然災害や、救急・消防出勤の数分の遅れは、助けられる命も失いかねません。幸手市は東武鉄道で東西の交通が遮断されやすく、緊急時の幸手消防西分署の役割は極めて大きい。幸手市民の命と暮らしを守るために、幸手消防西分署の存続に、賛成討論致します。

反対討論

武藤 壽男

本市の消防事務は、4市2町において一部事務組合の特別地方公共団体の埼玉東部消防組合が執行している。幸手市議会では権限外のため請願を採択できる立場にない。

また、組合の協定書を議決している構成議会が、各々個々の主張を決議したならば、円滑な消防運営はできなくなる。

などのことから、請願書の意を理解はするが趣旨採択しできない。

賛成討論

青木 章

請願の採択基準で「原則として当該団体の権限に属すること。」等があります。しかし「済生会栗橋病院の現行存続を求める決議」も全員一致で可決しています。また、同解説書に「願意が妥当であれば、採択する。」ともあります。今請願の願意は妥当で東部消防に意見することは、まさしく民主主義の根幹と考え賛成いたします。

(決議案第1号)

埼玉東部消防組合に対して幸手消防西分署の存続を求める決議を可決

幸手消防西分署の存続を求める決議案が提出され、幸手市議会として「賛成多数」で可決し、3月25日、東部消防組合管理者に決議文を送付しました。

人事案件

固定資産評価審査委員会委員

金子 和彦氏
を選任することに同意しました。

人権擁護委員

小林 弘和氏
小林 達郎氏
高島 勝也氏
を推薦することに同意しました。

決議案第1号

埼玉東部消防組合に対して幸手消防西分署の存続を求める決議

現在、埼玉東部消防組合では、平成30年7月25日の正副管理者協議、平成30年9月18日の正副管理者合意に基づき、幸手消防西分署の廃止案が検討されています。

しかし、近年は異常気象、大地震など災害発生の危険性が高まっています。また、人口減少よりも早く高齢化が進み、高齢者のみ世帯、高齢単身世帯、後期高齢者が増えることに伴う救急事案が当面続く傾向にあり、地域住民は幸手消防西分署廃止に大きな不安を感じています。幸手消防西分署は平成5年の開所以来、地域の安全・安心を担い、住民も大きな信頼を寄せてきた消防活動の拠点であり、その存在は幸手市民及び埼玉東部消防組合にとって公益そのものです。

今般、幸手市議会に市民から7115名の署名とともに「埼玉東部消防組合に対して幸手消防西分署の存続を求める市議会決議を求める請願」が提出されました。この請願は、市民の命や身体維持への願いが込められているものです。

これを受け、幸手市議会は、幸手消防西分署が市民の安全・安心の拠りどころであることを確認し、次の事項を決議します。

- 1. 住民の生命と身体の安全・安心を守る施設として幸手消防西分署の存続を求める

以上

令和2年3月19日

幸手市議会

総務常任委員会

幸手市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例（議案第7号）

問 現在の臨時職員が会計年度任用職員に移行した場合の級数および給与額の増減については。

答 当初予算編成時に、1級と2級格付説明会を実施した、人数は一般会計において326名で、給与増減については、減額する者が23名程度、差引きの者が増額する見込みである。

権利の放棄について（議案第8号）

問 貸付実績については。

答 昭和58年度から昭和62年度までに10件、7名に対して合計6250万円を貸付けしました、住宅新築資金貸付けが5件で金額4300万円、住宅改修資金貸付けが2件で金額600万円、宅地取得資金貸付けが3件で金額1350

万円です、未償還は当該条例を含む2件で、収入未済額は1151万6702円が元金と利子分の未償還額になる、もう1件は年間30万円の約束で償還中である。

令和元年度幸手市一般会計補正予算（第7号）（議案第9号）

問 土木費国庫補助金の補正後の社会資本整備総合交付金の決定額、および建築指導費補助金の減額理由は。

答 都市計画費補助金の交付額が1276万円で、建築指導費補助金が102万1千円です。狭あい道路の整備補助金の対象事業、木造住宅耐震診断資金補助金の対象事業、木造住宅耐震改修資金の3種類に、社会資金整備総合交付金が充てられている、狭あい道路は、測量委託料4件で、当初予算時見込みより需要が少なく、木造住宅耐震診断も4件の見込が、申請件数1件、木造住宅耐震改修資金補助金は20万円の見込みが、申請件数0件であったため、減額したも

のである。

令和2年度幸手市一般会計予算（議案第15号）

問 固定資産税の減額理由は。

答 土地については大きな増減はなく、家屋は3615万5千円の増を見込んでいる、償却資産は5944万8千円の減額を計上している、主な要因は償却資産の減で昨年中は積極的設備投資が少なかったことで、減価償却により下がったものである。

問 PRサポーター養成講座委託料の内容については。

答 PRサポーターは、シティブロモーションの協力者として市民公募SNS等での投稿や、市のイベント等でご協力いただいた市民に対する講座と、来年度は幸手市で暮らしたらという暮らしができるかというPR冊子の作成を予定し新たに20名PRサポーター募集を予定している。

応募要件は特に定めず、幸手市が好きな方、幸手市に関心のある方とする。

問 基金費の残高については。

答 令和2年度予算上では、財政調整基金、減債基金、公共施設整備基金、地域福祉基金など見込みで5億3138万4千円である。

令和2年度幸手市一般会計補正予算（第1号）（議案第25号）

問 小学校トイレ大規模改修事業費の令和元年度予算への前倒しと庁舎建設基金積立金については。

答 令和2年度当初予算におけるトイレ大規模改修事業の起債額は継足単独分に対し75%となっている。

国の令和元年度補正予算の補助採択の内示を受け、事業を前倒した結果、継足単独分に対し100%の起債が可能となった。

このため、今回の補正予算により一般財源の持ち出し分がなくなり、その分について庁舎建設基金に積立てをするものである。

※継足単独分：補助基準額を超える部分の事業費



文教厚生常任委員会

令和元年度幸手市一般会計補正予算(第7号)(議案第9号)

問 ノンステップバス導入促進費補助金の減額理由は。

答 東武動物公園と境車庫間のバス路線で、当初、4台分の補助を予定していたが、朝日自動車株式会社から、3台分について、国からの補助金交付の対象外となった旨の連絡があり、3台分の補助金を減額するものである。

令和元年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)(議案第10号)

問 退職被保険者等国民健康保険税で、106万9千円の減額に係る人数は。

答 平成31年4月時点で20名だったところが、令和元年12月末で8名に減少した。この退職者医療の制度は、平成26年度末をもって終了して、その後の経過措置で毎年減っている。

令和元年度幸手市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)(議案第11号)

問 後期高齢者医療保険料が110万8千円の増額理由は。

答 被保険者数の増に伴い、保険料の収納額が伸び、当初予算時が7670名のところ、課税時点で7994名と324名の増があった。

令和元年度幸手市介護保険特別会計補正予算(第3号)(議案第12号)

問 第1号被保険者保険料で現年度分普通徴収保険料を1100万円減額し、現年度分特別徴収保険料を1100万円増額している理由と人数は。

答 保険料の増減は、特別徴収と普通徴収の切り替えによるもの。特別徴収と普通徴収の今後の見込みを考え、1100万円の入替えを行った。人数については、併徴と言って、両方ともかかってくる方がいるので、それもあわせて、特別徴収が1万4865人、普通

徴収が2592人、併徴が331人である。

令和2年度 幸手市一般会計予算(議案第15号)

問 デマンド交通運行管理業務委託料の10月以降の予算計上は。

答 今年の9月末をもって5年間の契約が切れる。現在、行っているアンケートを踏まえ、今後どのような公共交通がよいのかという検討に入っている。現状では9月分までの予算と同程度を計上した。

令和2年度幸手市国民健康保険特別会計予算(議案第16号)

問 一般被保険者国民健康保険税が前年度比2350万7千円の減額となっている要因は。

答 この数年、被保険者数が減少しており、その影響で減が生じている。平成31年度、令和元年度の一般被保険者の被保険者数は、1万3187名だが、令和2年度は、1万2904名で見込んでおり、その差は283名の減となっている。一番大きな被保険者数の減の要因は、このところの高齢化の影

響で、後期高齢者医療に75歳を迎えてお移りになる方が増えていることの影響による。

令和2年度幸手市後期高齢者医療特別会計予算(議案第17号)

問 被保険者の想定人数は。

答 令和元年度7670人、令和2年度8153人、人数にして483人の増、率にして63%の増である。

令和2年度幸手市介護保険特別会計予算(議案第18号)

問 来年度の第1号被保険者の段階別人数は。

答 積算上の人数は、第1段階2799人、第2段階1036人、第3段階986人、第4段階3095人、第5段階2159人、第6段階2745人、第7段階2349人、第8段階1102人、第9段階1028人、合計1万7299人である。

建設経済常任委員会

幸手市市営住宅管理条例の一部を改正する条例 (議案第4号)

問 市営住宅の入居に連帯保証人が不要となる改正。代わって必要となる「適当な」緊急連絡先とは。

答 緊急に連絡の取れる方で住所等がはっきりされている方、基本的には極力身内の方や親族の方を想定しており、連絡先となる方には印鑑証明等を提出いただく。

令和元年度幸手市幸手駅土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号) (議案第14号)

問 調整池本体整備工事が繰越明許(繰り越し)される理由は。

答 工事は11月7日契約、3月25日までの5か月間の契約を予定していたが、入札が不調となり1か月の遅れを生じた。また、契約後、軟弱地盤に対応する矢板の調達に時間を要したことが要因である。

令和2年度幸手市一般会計予算 (議案第15号)

問 農林水産業費の多面的機能支払い事業補助金が増額計上となっている。補助対象団体数は。

答 新規3団体を含め、9団体分で、補助額は1169万4千円を見込んでいます。

問 菜種作付謝礼の内容、作付け場所は。

答 作付け場所は権現堂桜堤周辺。周辺農業者10件で、概ね1万4850平方メートル、菜種の収穫量90リットルを見込んでいます。今後も駅から歩いてきたときの景観面を考えながら地元農家と協力していきたい。

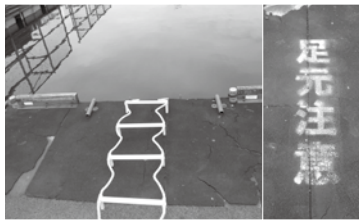
問 中心市街地にぎわい創造事業補助金170万円の補助内容は。

答 平成30年3月に策定した幸手市中心市街地にぎわい創造方針の4つの基本方針をもとに商工会が

特産品開発、観光連携、空き店舗・既存ストックの活用などの事業を実施。令和元年度は総事業費3566万9千円のうち、170万円を補助した。

問 市営釣場のラバーが古く、危険な状況にあると聞く。修繕費をいかに見込んでいるのか。

答 ラバーの痛みは危惧している。現在、危険箇所には安全対策を講じているが、新年度は簡易な修繕費を計上。大きな修繕が発生する場合は別途対応を考えていく。



問 古川橋仮橋撤去工事費8400万円の工事内容は。撤去費用の軽減策はないのか。

答 今年3月供用開始となり、仮橋と杭を撤去する。仮橋撤去工に6400万円、護岸工に310万円、左岸側擁壁工に630万円、舗装等に1060万円を見積もっている。工法については河川管理者である県に確認する。

令和2年度幸手市農業集落排水事業特別会計予算(議案第19号)

問 最適整備構想策定業務の委託内容、委託料の財源内訳は。また、本会計への市の繰り出しを少なくする方策を考えるべきでは。

答 従来の修繕は機器の老朽化、機能停止に達した段階で機種を交換するものであったが、修繕費を一気に放出するのではなく、器材の延命化を図って、費用の平準化を図り、将来的な費用負担を軽減するための計画策定業務である。財源内訳は国庫補助金300万円、市費214万8千円。現在、経費回収率が事業費全体の25%という状況であり、事業の在り方は今後さらに検討していく。

令和2年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計予算(議案第20号)

問 事業計画変更等業務委託料1641万2千円の委託内容は。

答 事業認可から10年目となり、現状の事業進捗に合わせて事業計画書の諸条件を整理するものである。

市政に対する

一般質問

今定例会では、14人の議員が2月25日、26日、27日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

四本奈緒美議員

- 幸手市内保育所の周辺道路の安全整備について
- 災害時の乳児用液体ミルクの備蓄について
- SDGsに対する幸手市の取り組みについて

坂本達夫議員

- デマンド交通
- 本庁舎建て替え方針
- 荒宿交差点、幸手市役所入口交差点
- 洪水対策
- 公共下水道事業の進捗状況
- 幸手駅西口の活性化

小林啓子議員

- LGBTの取り組みについて
- 高齢ドライバーの交通事故対策について
- レジ袋有料化義務について

松田雅代議員

- 「幸手市子ども議会」について
- 会計年度任用職員等への移行について
- 公共施設アセットマネジメントについて
- 台風19号の反省に基づく災害対策の進行状況について
- 公共交通網の整備について
- 幸手市西地区のポテンシャルについて

小林英雄議員

- 「アスカル幸手」臨時駐車場の設置について
- 権現堂公園桜堤周辺への臨時駅設置について
- 権現堂公園管理事務所について

本田謡子議員

- 災害弱者について
- 市助成（補助金）を受けて購入した防災資機材、および取得した防災士について
- 避難所について
- 防災ヘルメットについて
- 生徒の自転車通学用ヘルメットの活用について

青木章議員

- バラリンピックについて
- 就職氷河期等に対する支援について市長に伺う
- 令和2年度の予算について

大平泰二議員

- 防災対策について
- 財政立て直しについて
- 消防署西分署廃止問題について
- 駅西口土地区画整理について

小河原浩和議員

- 市長の選挙公約が令和2年度当初予算にどのように反映されているのか

海老沼隆夫議員

- 産業団地への企業誘致について
- 交通安全対策について
- 高齢者が今後も健康でいきいき生活できるために台風19号他、安全対策・避難対策・浸水や冠水対策などについて
- 市内小学校のトイレなどの改修について
- 公共工事入札業者に対する指導について
- 幸手市の農業および農業就業者を守っていくことについて

藤沼貢議員

- 令和2年度一般会計予算について市長に伺う
- 新型コロナウイルス等に関連した市の取り組みについて

木村治夫議員

- 生活排水対策の推進について
- 高齢者支援の推進について
- 商工業の活性化のための支援について
- 観光の振興について

枝久保喜八郎議員

- 市政における継続的な課題について伺う
- 学力向上に向けた教育指針について教育長に伺う
- 幸手市の歴史と伝統に寄与する囲碁文化について伺う
- ハラスメントについて伺う

武藤寿男議員

- 行政課題の進捗状況について
- 事務執行上の問題について

3月定例会

傍聴者

67人の方が傍聴されました。

議会インターネット中継のアクセス件数
インターネットを利用した議会中継
(ライブ及び録画)を行っております。

1月 58件 | 2月 2894件 | 3月 1229件

の方が視聴されました。

議事を傍聴しませんか
議会では日常生活にかかわる条例や事業の予算などを審議し、決定していきます。ぜひ、傍聴にお出かけください。

- 3月定例会 会期日程**
- 2月21日(本会議)
 - ・開会・会期の決定・報告事項
 - ・市長提出議案一括上程、提案理由説明
 - 2月25日・26日・27日(本会議)
 - ・市政に対する一般質問
 - 3月4日(本会議)
 - ・議案に対する質疑
 - 3月5日・6日(委員会付託)
 - ・議案の委員会付託
 - 3月9日・10日(委員会)
 - ・文教厚生常任委員会
 - ・総務常任委員会
 - 3月11日(委員会)
 - ・建設経済常任委員会
 - 3月19日(本会議)
 - ・委員長報告、質疑、討論、採決
 - 閉会

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ（インターネット映像配信システム）でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 3月定例会の会議録は6月上旬頃公開予定です。

SDGsの理念で、幸手市の施策の実現を！



四本奈緒美議員

Q SDGs（エスディージーズ）とは持続可能な開発目標の事。

2015年9月に国連サミットで採択され、世界が抱える問題解決の為、2030年を目指して「貧困をなくそう」「気候変動に具体的な対策を」などの17の目標の実現に取り組み、「誰一人取り残さない」こと

A SDGsに定められている目標やターゲットについては、雇用の創出や産業振興、環境保全、市民の健康と福祉の増進など、その多くが「持続可能なまちづくり」を目指した当市の総合振興計画や総合戦略に掲げる施策と趣旨を同じくするものである。SDGsとの関連性については特に明記して

を目指しての、幸手市のSDGsの取り組みについて伺う。

はいないものの、これらの計画等を推進してきたことが、SDGsに対する取り組みに資するものと考えられる。今後もあるSDGsの理念に基づき、計画を確実に推進していく。

（総合政策部長）

危ない市役所本庁舎



坂本達夫議員

Q 令和2年2月初旬、幸手市役所本庁舎玄関の天井からコンクリート破片が落下した。幸いケガ人はいなかった。しかし、本庁舎の屋上付近を見ると、コンクリートが落ちそうな所が随所に見られる。この庁舎をいつまで使うのか、真剣に検討すべきではないか。また、大きな地震がくれば耐震上問題

のある本庁舎は倒壊する。その中には市民も職員もいる。総務部長は、人の命をどう思っているのか。守らなければならぬもの大切なものと思っっているのか。

A 市役所本庁舎については、平成23年度の耐震診断の結果、構造耐震指標が、倒壊等の危険性が低いとされている値を下回っていたため、市は、平成30年度、建て替えする方針

を決定した。

市役所本庁舎は、市民や職員が存在し、市の中枢の機能を担う、災害時の拠点施設であるので、市は、人命を重視し、できる限り早い時期に、建て替え事業を実施してまいりたい。

（総務部長）

高齢ドライバーの交通事故対策は



小林啓子議員

Q 国においては、19年度補正予算に安全運転機能を搭載した「交通安全サポート車」の購入補助に1139億円を確保した。

幸手市として、国の補助に上乘せした購入補助をしてはどうかを伺う。

運転免許証を自主返納した高齢者が安全講習会の実施を前提

にした電動アシスト自転車の貸し出し事業を、幸手市として行ったらどうかを伺う。

A 市では、高齢運転者の交通事故を未然に防ぐ対策として、運転免許証を自主返納した方を対象にタクシー利用券の交付を実施している。

国の補助に上乘せした購入補助について現時点で実施の予定はないが、今後の交通事故発生状況などを見ながら実施の必要

性を検討する。

電動アシスト自転車の貸し出し事業について現時点で実施の予定はないが、運転免許証を自主返納しやすい環境整備の観点から実施の必要性を検討する。

(市民生活部長)



会計年度任用職員募集改善の余地は



松田雅代議員

Q 地方公務員法等の一部改正に伴い、これまで特別職非常勤職員であったものの任用要件が厳格化され、一部の役職を会計年度任用職員または有償ボランティア等に移行する制度改革が新年度より施行される。

他の臨時職員から移行した職員も含め、新年度は約300人

を雇用することになるが、各職種の勤務条件や賃金などの公開がなされないまま募集・採用が終わった。どのような方法で採用を行ったのか。改善の余地を伺う。

A 会計年度任用職員の募集については、令和元年11月号及び12月号の「広報さつて」に掲載するとともに、12月16日から市のホームページに募集案内を掲載することで市民に

幅広く広報し、募集・採用事務を行っている。

今後は、近隣市町村や市職員との均衡を図りながら、より良い制度となるよう、調査・研究し、さらなる充実を図ってまいりたい。

(総務部長)

桜堤周辺への臨時駅設置の進捗状況は…



小林英雄議員

Q 桜まつり期間中の渋滞緩和・解消は、地域住民にとつての問題であるだけではない。未来に向け桜の名所として、賑わいを存続させていく為に、来場者の利便性を向上し、リピーターを増やす為にも、臨時駅設置は重要な課題であると考へ質問を重ねてきた。

市長公約「四季駅」でもあり

慎重に検討するとの答弁であった。その後の進捗状況について東武鉄道と協議等の進展があったか伺う。

A 権現堂桜堤周辺交通渋滞の解消は、重要かつ喫緊の課題であると認識しており、臨時駅の設置は、その課題を解決するひとつの方策である。しかしながら、駅の設置となると、様々な制約や課題点もあることから、これらも踏まえて慎重に検討していきたいと考へている。

なお、その後の状況については、2月18日に、総合政策部および建設経済部の職員が東武鉄道の本社を訪問し、臨時駅舎に係る調査・研究を今後、進めていくための協力をお願いしたところである。(総合政策部長)

防災資機材や防災士はいかされているのか



本田謡子議員

Q 幸手市は自主防災組織に対し、防災資機材や防災士取得の助成(補助金)をしている。そこで、その防災資機材の点検や管理を伺う。また、助成で取得した13人の防災士の台風19号における市に対する動きと、その防災士を市として「育てる」施策はあるのかを伺う。

幸手市は自主防災組織に対し、防災資機材や防災士取得の助成(補助金)をしている。そこで、その防災資機材の点検や管理を伺う。また、助成で取得した13人の防災士の台風19号における市に対する動きと、その防災士を市として「育てる」施策はあるのかを伺う。

A 自主防災組織が配備した防災資機材等は、日頃からの自主防災活動の中で使用されるものであり、点検や管理はそれぞれの組織で行うものと考えていることから、いざという時に確実に使用できるように、周知を図っていく。また、台風19号の際には、自主防災組織の防災士に対し、活動の依頼等は行っていないが、その専門的知識を災害時に活用し、中心となって活躍していただくため、今

後、防災士が連携や情報交換をするための場を検討したいと考へている。(市民生活部長)



パラリンピック聖火リレーの対応について



青木 章議員

Q

東京2020パラリンピックは、8/25(火)～9/6(月)までの12日間開催されます。また、パラリンピックでは、8/18(火)～8/21(金)の間、採火式や聖火デジタルに加えて聖火リレーも開催されます。埼玉県内の聖火リレーは、8/20(木)に行なわれ幸手市↓蓮田市、白岡市↓川島町、入間市↓朝霞市のルートと発表されました。そこで、幸手市に

A

パラリンピックの聖火リレーは、令和2年8月20日(木)に実施されます。県内17市町村で「採火式」、さいたま市で「集火式」が行われ、「埼玉の聖火」として車輛にて幸手市まで移動され、聖火リレーが始まります。聖火リレー当日については、関連イベントや広範囲な交通規制、また、沿道警備を行う必要がある

ことから、市内の団体へ協力をお願いしたいと考えております。また、小・中学生や幸手桜高校の生徒のみなさんに協力を依頼することも検討しています。(教育部長)

※議会終了後、延期が決定しましたが、市としては、これまでの計画どおり聖火リレーが行われるよう取り組んでいきます。(教育部長)

消防署西分署廃止問題について



大平泰二議員

Q

東部消防組合議会で管理者は「協議はするがまだ何も決まっていない」と答弁(昨年10月)しているが、その後の管理者会議の協議内容について。また、報告書は「消防防災科学センター」に依頼し作成した机上の合理化案で本署は管轄を大きく(半径2.5km)、分署は小さく(半径2km)している。

A

データ数字の根拠も不明です。市は報告書の内容をどのように分析したのか伺います。正副管理者会議は、昨年12月23日と本年2月10日に行われ、その際、西分署廃止については、市議会議員、地域住民も反対していること、地勢や道路状況からも、引き続き存続するよう意見を申し上げ、以降の具体的な動きはない。また、報告書は、第三者機関が国

の整備指針に基づき調査・分析したもので、結果は適正に評価されていると認識しているが、地域の実情などは反映されていないことから、地勢や道路状況等を考慮すべきものと考えている。(市民生活部長)

選挙公約が新年度予算にどの様に反映されたか



小河原浩和議員

Q

市長は「市政一新」を掲げ、随所に「刷新」「見直し」「抜本的な改革」とあるが、その言葉の通り、令和2年度の当初予算に反映されている主な具体策を事例別にその予算金額を交えて伺う。

A

教育・子育て支援事業の刷新として、プログラミング教育ソフトの導入、アフタースクールの経費および3世代ファミリー定住促進補助金を計上した。

また、医療・介護・福祉の見直しとして、第2次幸手市地域福祉計画の策定、ロタウイルスワクチン接種費用助成金およびパラリンピック聖火リレーの経費を計上した。

公共施設の再編では、行政組

織の活性化や行政機関の集約として、引き続き公共施設個別計画を策定する経費を計上した。

(市長)



台風時の浸水・冠水対策を！



海老沼隆夫議員

Q

毎回大雨の度に浸水・冠水する所では、側溝取水口が詰まったまま、排水溝中が土砂で埋まり、排水能力の失われた場所が長年放置されたままになっています。このような場所のチェック・発見と、改善対策を伺う。

A

道路側溝の取水口のつまりや土砂の堆積等は、台風時などに職員のパトロールによる現地確認や、市民からの情報提供もいただきながら、つまりの改善や土砂の堆積の撤去などの維持工事を適切に行いながら、排水路修繕などを検討し、被害の軽減に努めてまいります。

(建設経済部長)



新型コロナウイルス等の市の取組みについて



藤沼 貢議員

Q 新型コロナウイルスによる感染は全国的に広がりを見せている。

感染者は2月25日現在、国内で159名、死者1名と厚生労働省は発表しているが、情報不足により、市民は不安の中にある。国は25日に新型コロナウイルス感染症対策の基本方針を発表しているが、市は予防対策を

はじめ、医療を含め市民喚起すべきと思うが市の取り組みを伺う。

A 新型コロナウイルス感染症への適切な対応を行うため、市長を本部長とする対策本部を設置し、全庁的な情報共有と連携体制の強化を図り、

市主催のイベントや公共施設の休館等について、国・県の動きと連動した対応を決定している。これら市の対応や感染予防策、

相談窓口については、市ホームページや広報、回覧、関係団体への周知等、様々な手段を用い、市民に情報が行き渡るよう取り組んでいる。今後、適宜対策会議を開催し、対応していく。

(健康福祉部長)

高齢者支援の推進について問う



木村治夫議員

Q 高齢者の市民が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けることができる街幸手の観点から伺う。

(1)介護保険サービスの充実について地域密着型サービスの具体的方策について、また令和2年度介護会計予算において、高齢者の居場所づくりの推進、ま

た活動ボランティアに対する市としての支援について市長に伺う。

A 幸手市第7期介護保険事業計画に基づき、新たな地域密着型サービスの公募および整備を進めており、これまでに小規模多機能型事業所などが開設した。令和2年度はこれらを含め、サービスの周知や相談の強化を進める。

高齢者の居場所づくりとそれ

に関わるボランティア支援のため、令和2年度介護保険特別会計予算にボランティア養成費用や活動保険代を計上したが、今後、住民主体の自主的な活動支援のため、様々な手法を考えていく。(市長・健康福祉部長)

小中一貫校の実現について伺います



枝久保喜八郎議員

Q

市内小学校3校で今年度の入学予定児童が7名となっており、複式学級での対応も限界がある。小中一貫校は学力のみならず子どもの健全な成長に多くの利点がある。学級担任から教科担任で教師児童共にコミュニケーションとモチベーションが高まり、学びの質が変わる。複数教師の拘わりでいじめの芽

A

現在、学区の見直しも含めた小中学校の適正規模や形態などについて、研究、検討をしている。また、昨年7月には、一貫校の先進事例である春日部市立江戸川小中学校に

が発見しやすく、かつ教師による固定概念固定評価が無くなり子どもが明るくなる。スポーツ活動が幅広く可能となる等々。東中学校を中心とした学校制度を早期に考慮すべきでは。

ついて学ぶため、開設を担当した職員を招いて、説明を受け、質疑応答や情報交換を行ったところである。教育委員会としても、今後の市立小中学校の設置のあり方や適正な規模については、喫緊の課題であると認識している。設置者である市長部局とも連携し、検討を進めていきたい。

(教育長)

公共施設の個別管理計画の進捗は



武藤寿男議員

Q

本市の公共施設は、建設後年数も経過し老朽化しつつある。少子高齢化が顕著となり、生産年齢人口の減少等によって、財政状況の見直しにも厳しいものがある。

このような中で、公共施設の維持管理をどのようにするか、個別の管理計画の進捗状況を伺

A

また、そのためには事業用施設、インフラ施設の、固定資産台帳の整備が必須であるが、それぞれ所管課の施設管理台帳の整理把握が必要と思われるが、それらの取り組みについても伺う。

個別管理計画については、市内の公共施設の現状および今後の基本的方針等を扱った「市民説明会」や「市民

ワークシヨップ」を実施するとともに、「幸手市公共施設等総合管理計画」策定の際に収集・整理した「公共施設データ」および「公共施設カルテ」に施設劣化状況の調査結果を加えて更新し、計画案の作成を進めているところである。

また、個別管理計画の基となる固定資産台帳においては、各種管理台帳を含め整理精査をしている。

(総合政策部長・総務部長)

令和2年3月定例会 提出された議案の結果

公明党…公 幸手市政クラブ…幸 自民党…自 新政会…政 新緑…緑 日本共産党…共 無所属…無 (○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席)

(幸手市長提出議案)

議案番号	議案名	議席番号・議員名															付託委員会	議決結果
		1 四本奈緒美 (公)	2 坂本達夫 (無)	3 海老沼隆夫 (共)	4 小林英雄 (政)	5 枝久保喜八郎 (無)	6 宮杉勝男 (政)	7 本田謡子 (政)	8 小河原浩和 (緑)	9 小林啓子 (公)	10 松田雅代 (幸)	11 木村治夫 (自)	12 藤沼貢 (自)	13 青木章 (緑)	14 武藤壽男 (幸)	15 大平泰二 (共)		
議案第1号	幸手市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第2号	幸手市監査委員に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第3号	幸手市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第4号	幸手市市営住宅管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第5号	幸手市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第6号	幸手市水道事業の設置等に関する条例及び幸手市公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第7号	東武日光線幸手駅自由通路整備工事の施行に関する基本協定の一部を変更する協定の締結について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	建設経済	賛成多数可決
議案第8号	権利の放棄について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第9号	令和元年度幸手市一般会計補正予算(第7号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	総務 文教厚生 建設経済	賛成多数可決
議案第10号	令和元年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第11号	令和元年度幸手市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	文教厚生	賛成多数可決
議案第12号	令和元年度幸手市介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第13号	令和元年度幸手市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第14号	令和元年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	建設経済	賛成多数可決
議案第15号	令和2年度幸手市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教厚生 建設経済	賛成全員可決
議案第16号	令和2年度幸手市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第17号	令和2年度幸手市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	文教厚生	賛成多数可決
議案第18号	令和2年度幸手市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第19号	令和2年度幸手市農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第20号	令和2年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	建設経済	賛成多数可決
議案第21号	令和2年度幸手市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第22号	令和2年度幸手市公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第23号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第24号	令和元年度幸手市一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教厚生	賛成全員可決
議案第25号	令和2年度幸手市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教厚生	賛成全員可決
議案第26号	令和元年度幸手市一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意

(議員提出議案)

請願第1号	(仮称)県営幸手権現堂公園駅の設置について幸手市議会の決議を求める件																総務	継続審査
請願第2号	埼玉県東部消防組合に対して幸手消防西分署の存続を求める幸手市議会決議を求める件	○	○	○	×	×	—	×	○	○	○	○	×	○	×	○	文教厚生	採択
決議案第1号	埼玉東部消防組合に対して幸手消防西分署の存続を求める決議	退	○	○	×	×	—	×	退	○	○	×	○	×	○	—	賛成多数可決	

議会広報編集委員	委員長	宮杉勝男
	副委員長	小林啓子
	委員	四本奈緒美
	委員	坂本達夫
	委員	本田謡子
	委員	小河原浩和
	委員	松田雅代
	委員	木村治夫
	委員	大平泰二

編集後記 新型コロナウイルス感染症の拡散に収束の兆しが見えない中、新年度が始まりました。幸手市では市長を本部長とする対策本部により、様々な対応が講じられています。学校の臨時休校、桜まつりやさくらマラソンなどのイベント自粛、公共施設の休館などの緊急対応が続き、さらに長期化すれば市民の皆様への影響が心配です。東京オリンピック・パラリンピックも延期となりました。感染症封じ込めに向け、私たちも3つの密、手洗い・うがい、咳エチケット、マスク着用など、クラスターとならない対策をみんなで励行してまいります。